



2024年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月12日

上場会社名 大黒天物産株式会社 上場取引所 東
コード番号 2791 URL <http://www.e-dkt.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大賀 昭司
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 大村 昌史 TEL 086-435-1100
四半期報告書提出予定日 2023年10月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年5月期第1四半期の連結業績（2023年6月1日～2023年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年5月期第1四半期 | 66,461 | 13.6 | 1,968 | 340.9 | 2,018 | 309.0 | 1,238 | 300.3 |
| 2023年5月期第1四半期 | 58,519 | 5.6 | 446 | △77.7 | 493 | △76.1 | 309 | △76.8 |

(注) 包括利益 2024年5月期第1四半期 1,224百万円 (261.6%) 2023年5月期第1四半期 338百万円 (△75.5%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年5月期第1四半期 | 88.95 | 88.94 |
| 2023年5月期第1四半期 | 22.22 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2024年5月期第1四半期 | 95,029 | 50,338 | 52.8 |
| 2023年5月期 | 97,194 | 49,518 | 50.8 |

(参考) 自己資本 2024年5月期第1四半期 50,177百万円 2023年5月期 49,357百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年5月期 | — | 0.00 | — | 29.00 | 29.00 |
| 2024年5月期 | — | — | — | — | — |
| 2024年5月期（予想） | — | 0.00 | — | 29.00 | 29.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年5月期の連結業績予想（2023年6月1日～2024年5月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|---------|-----|-------|-------|-------|-------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期（累計） | 124,800 | 6.9 | 2,700 | 151.6 | 2,700 | 102.7 | 1,600 | 107.5 | 114.86 |
| 通期 | 257,200 | 6.2 | 6,100 | 35.6 | 6,100 | 25.9 | 3,700 | 18.7 | 265.63 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2024年5月期1Q | 14,474,200株 | 2023年5月期 | 14,474,200株 |
| ② 期末自己株式数 | 2024年5月期1Q | 545,471株 | 2023年5月期 | 545,471株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2024年5月期1Q | 13,928,729株 | 2023年5月期1Q | 13,928,846株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。尚、上記予想に関する事項は、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 7 |
| (企業結合等関係) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2023年6月1日～2023年8月31日）における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染症が5類相当になるなど経済活動の制限緩和により、景気は緩やかに回復傾向に向かう一方で、為替の影響による輸入品の高騰やエネルギー価格及び物流コストの高止まりなどにより、極めて厳しい状況が続いております。

小売業界におきましては、物価の上昇による相次ぐ商品値上げによって消費者の生活防衛意識はコロナ渦の時よりも高くなっており、節約志向がより一層高まってきております。また、各企業においても光熱費、人件費、物流費の上昇による影響が続いており、経営環境は引き続き厳しさを増しております。

このような環境の中、当社グループでは、『魅力ある店づくり6項目』（①価格、②品質、③売場、④活気、⑤環境整備、⑥接客）の徹底をスローガンに、お客様にご支持いただける小売業を目指して取り組んでおります。お客様に「安くて新鮮で美味しい商品」を提供するべく、ESLP（エブリデイ・セーム・ロープライス）による地域最安値価格を目指すことに加え、自社開発商品の中身を徹底的に『アナライズ』（分析）し改良を重ねた「高品質・低価格」なラインナップを前面に打ち出して展開するほか、自社物流の構築による物流コスト削減、産地からの最短定温物流実現による生鮮食品の鮮度向上を推進しております。さらに成長戦略として、高速多店舗化出店を掲げ、前連結会計年度から年間出店数を例年より増やしており、中国及び関西の両センターの稼働率を上げることでのコスト削減と、出店する店舗の一部について100%センター供給店舗フォーマット（SF0店舗）とすることで、出店コストと店舗運営コストの削減を実現しております。当第1四半期連結累計期間において、石川県と熊本県にそれぞれ1店舗の計2店舗の新規出店をいたしました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は664億6千1百万円（前年同期比13.6%増）、経常利益は20億1千8百万円（前年同期比309.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は12億3千8百万円（前年同期比300.3%増）となりました。なお、前第1四半期連結累計期間には、2022年8月に本格稼働した関西物流RMセンターの立ち上げ費用等が含まれております。

また、当社グループのセグメントの経営成績につきましては、小売事業以外に、卸売事業、飲食事業等を営んでおりますが、重要性が乏しいため記載を省略しております。

（2）財政状態に関する説明

（流動資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、221億7千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億1千6百万円減少いたしました。その主たる変動要因は、現金及び預金の減少（86億3千万円から78億2千4百万円へ8億6百万円減少）、商品及び製品の減少（83億7千万円から80億7千万円へ3億円減少）、その他の流動資産の減少（62億1百万円から56億4千7百万円へ5億5千3百万円減少）などによるものであります。

（固定資産）

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、728億5千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億4千8百万円減少いたしました。その主たる変動要因は、有形固定資産の減少（598億9千2百万円から595億8千5百万円へ3億7百万円減少）などによるものであります。

（流動負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、287億2千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億7千8百万円減少いたしました。その主たる変動要因は、未払法人税等の増加（5億3百万円から6億9千3百万円へ1億9千万円増加）などに対し、賞与引当金の減少（5億8千1百万円から3億8千1百万円へ1億9千9百万円減少）、その他の流動負債の減少（82億6千7百万円から62億1千3百万円へ20億5千4百万円減少）などによるものであります。

（固定負債）

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、159億6千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億6百万円減少いたしました。その主たる変動要因は、長期借入金の減少（119億5千万円から109億2千8百万円へ10億2千2百万円減少）などによるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、503億3千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億2千万円増加いたしました。その主たる変動要因は、利益剰余金の増加（466億2千1百万円から474億5千6百万円へ8億3千5百万円増加）などによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月期の第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、概ね計画どおりに推移しており、連結、個別ともに2023年7月6日公表の業績予想に変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年5月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2023年8月31日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 8,630 | 7,824 |
| 受取手形及び売掛金 | 151 | 121 |
| 商品及び製品 | 8,370 | 8,070 |
| 仕掛品 | 146 | 160 |
| 原材料及び貯蔵品 | 593 | 554 |
| その他 | 6,201 | 5,647 |
| 貸倒引当金 | △203 | △203 |
| 流動資産合計 | 23,890 | 22,173 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 40,209 | 40,447 |
| 土地 | 9,357 | 9,357 |
| その他（純額） | 10,325 | 9,780 |
| 有形固定資産合計 | 59,892 | 59,585 |
| 無形固定資産 | 344 | 320 |
| 投資その他の資産 | | |
| 建設協力金 | 1,376 | 1,420 |
| 差入保証金 | 5,129 | 5,151 |
| その他 | 6,620 | 6,437 |
| 貸倒引当金 | △59 | △59 |
| 投資その他の資産合計 | 13,067 | 12,949 |
| 固定資産合計 | 73,304 | 72,855 |
| 資産合計 | 97,194 | 95,029 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年5月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2023年8月31日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 16,749 | 16,834 |
| 短期借入金 | 4,601 | 4,601 |
| 未払法人税等 | 503 | 693 |
| 賞与引当金 | 581 | 381 |
| その他 | 8,267 | 6,213 |
| 流動負債合計 | 30,703 | 28,724 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 11,950 | 10,928 |
| 退職給付に係る負債 | 41 | 44 |
| 資産除去債務 | 3,397 | 3,447 |
| その他 | 1,583 | 1,545 |
| 固定負債合計 | 16,972 | 15,966 |
| 負債合計 | 47,676 | 44,690 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,661 | 1,661 |
| 資本剰余金 | 1,823 | 1,823 |
| 利益剰余金 | 46,621 | 47,456 |
| 自己株式 | △881 | △881 |
| 株主資本合計 | 49,225 | 50,061 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 131 | 116 |
| その他の包括利益累計額合計 | 131 | 116 |
| 新株予約権 | 52 | 52 |
| 非支配株主持分 | 108 | 108 |
| 純資産合計 | 49,518 | 50,338 |
| 負債純資産合計 | 97,194 | 95,029 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年8月31日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 58,519 | 66,461 |
| 売上原価 | 45,537 | 51,418 |
| 売上総利益 | 12,982 | 15,043 |
| 販売費及び一般管理費 | 12,535 | 13,074 |
| 営業利益 | 446 | 1,968 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 6 | 7 |
| 受取配当金 | 4 | 4 |
| 受取賃貸料 | 27 | 28 |
| 受取保険金 | 39 | 22 |
| その他 | 18 | 15 |
| 営業外収益合計 | 95 | 78 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 6 | 8 |
| 賃貸費用 | 16 | 15 |
| 貸倒引当金繰入額 | 18 | △0 |
| その他 | 7 | 4 |
| 営業外費用合計 | 48 | 28 |
| 経常利益 | 493 | 2,018 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 493 | 2,018 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 157 | 641 |
| 法人税等調整額 | 25 | 137 |
| 法人税等合計 | 183 | 778 |
| 四半期純利益 | 310 | 1,239 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 0 | 0 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 309 | 1,238 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年8月31日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 310 | 1,239 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 28 | △15 |
| その他の包括利益合計 | 28 | △15 |
| 四半期包括利益 | 338 | 1,224 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 338 | 1,223 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 0 | 0 |

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。

（企業結合等関係）

（連結子会社の吸収合併）

当社は、2023年2月28日開催の取締役会において、当社を存続会社として完全子会社であるマツサカ株式会社を吸収合併することを決議し、2023年6月1日付で吸収合併いたしました。概要は以下のとおりであります。

1. 取引の概要

（1）結合当事企業の名称及びその事業内容

①結合当事企業の名称

（存続会社）大黒天物産株式会社

（消滅会社）マツサカ株式会社

②事業の内容

スーパーマーケット事業

（2）企業結合日

2023年6月1日

（3）企業結合の法的形式

当社を存続会社、マツサカ株式会社を消滅会社とする吸収合併

（4）結合後企業の名称

大黒天物産株式会社

（5）その他取引の概要に関する事項

グループの営業力の強化及び経営効率の向上を目的としております。

2. 会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2019年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日）に基づき、共通支配下の取引として処理しております。